

令和4年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する
 - ア、学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする
 - イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う
 - ウ、挨拶を積極的に行う
- (2) 教員研修の充実
 - ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる
 - イ、外部の研究会や研修会などに各教科が積極的に参加
 - ウ、外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施
 - エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる
 - オ、新任教諭による研究発表会
- (3) 学校施設の充実
 - ア、学習施設の整備充実を図る
 - イ、校内学習補助機材等の充実
- (4) 危機管理体制の確立
 - ア、災害時、管理マニュアルの更新
 - イ、水、食料の備蓄を実施する
 - ウ、防犯訓練・避難訓練の実施

2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
 - ア、生活実態調査
 - イ、人権教育HRの実施
 - ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施
- (2) 生活指導
 - ア、学校外危険箇所、正門での登下校時の指導
 - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
 - ウ、全校生徒対象の校長講話ならびに生徒生活指導部長からの注意、指導
 - エ、服装、頭髪指導、及び公共のマナー、交通マナー向上の指導
- (3) 講演会、講習会の実施
 - ア、薬物乱用防止教室
 - イ、防犯教室
 - ウ、人権研修会
 - エ、ネットトラブル防止教室
 - オ、思春期教室
 - カ、自転車通学者講習会
 - キ、AED講習会

3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
 - ア、教科内での教員研修会の実施
 - イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上
- (2) 英語教育の強化
 - ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す
 - イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施
 - ウ、語学研修の実施
 - エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
 - オ、浪速国際コースでの実践力強化
- (3) 講習等の実施
 - ア、始業前の学習指導
 - イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施
 - ウ、長期休暇中での講習
 - エ、多聞合宿の見直しと内容の充実
 - オ、夏期特別選抜合宿の実施
- (4) ICT教育の推進
 - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施
- (5) 将来の進路選択に関する意識付け
 - ア、大学入試改革・学習指導要領改訂への対応
 - イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施
 - ウ、各大学で開催されるオープンキャンパス、セミナーへの積極的な参加
 - エ、外部講師を招いての受験対策講義
 - オ、HR等の時間での進路説明会
 - カ、思考力・判断力・表現力の育成

4 保護者地域に関わった学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア、授業参観の実施
 - イ、各学期に行われる三者懇談会
 - ウ、学期末に行われる成績懇談会
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア、担任と保護者との連携
 - イ、保護者へ学校連絡網システムやホームページによる情報発信
 - ウ、保護者対象進路説明会の実施
 - エ、高校生活支援カード作成による連携
- (3) 地域との連携
 - ア、大和川中学校区のイベントへの参加
 - イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加
 - ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
 - ア、地域での奉仕活動・神社奉仕
 - イ、近隣の老人ホーム慰問

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 自己分析と授業評価アンケートの結果、学校生活を楽しく過ごしていると答えた生徒の割合は、全学年の平均で昨年の85%より3%減の82%となっており、逆に充実感を得ていない生徒や不満を抱えている生徒達は、昨年と同じ5%で横這いである。どちらとも言えないと答えた生徒が、上記の微減分、若干増加をしている。家庭学習の時間については、コロナ禍での巣ごもりの影響で大幅に増加した昨年に比べ若干減少しており、学校行事等が徐々に再開できるようになった反面、家庭学習の状況改善については対策が必要と考える。将来について真剣に考えていると答えている生徒の割合は、学校全体で70%と昨年度の79%から減少しており、先の見通しのつきにくい状況下で、自身の将来について悩んでいる生徒が増加していると思われる。特に高校3年生の減少幅が91%から74%と大きく、進路指導を中心に、より細やかな情報の提供と相談の機会確保が急務である。授業におけるICTの活用については、板書データの共有や調べ学習、グループでのプレゼンテーション、小テストや課題の配信についてを判断の基準にしている生徒が多く、生徒自身がICTのツールを、日常的に上手に活用していることが伺えるが、ICT機器の利用が主目的ではないため、どのように授業に取り入れ、理解度を向上させるかについては、継続した課題となる。様々な状況下でも対応できる力を育成するために、引き続き主体的に学びに向かう力の育成、思考力・判断力・表現力の育成が大切であると思われる。</p> <p>○保護者</p>	<p>大和川中学校区の地域活動協議会のイベントに参加するなど地域と連携して活動することで地域に貢献し、奉仕の精神を養うことを期待します。</p> <p>withコロナという言葉でございませませんが、是からも感染の拡大が危惧されております。その中ででの管理運営は大変な事だとお察しいたします。語学(英語など)教育は就職し社会人になって必要な不可欠な言語と実感するものでありますので、聞き取れる、話せることができる生徒の基礎育成を希望します。また、新しい先生方が採用され、浪速の建学の精神をを良く知っていただき、学力面・生活面において、生徒の育成に努めていただけますように期待しております。</p> <p>今の自分に何が必要なのか。これからの時代に何が必要なのか。を真剣に考えてもらいたと思います。勉学やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をしたいと思っています。</p> <p>「学校生活を楽しく過ごしている」という面では、これまでのコロナ渦で学校行事が縮小していたことも影響しているのではないかと思います。浪速祭、体育祭のような大きな行事が出来なくて寂しい思いも感じていたのではないのでしょうか。何か目標に向かって、心を一つにし、知恵を出し合い、仲間と作り上げていくこと、出来上がった時の達成感は素晴らしいものだと思います。マンモス校で安全性を確保することは必須かと思いますが、生徒の希望を叶えられる、生徒のための浪速祭や体育祭を開催して欲しい。学校生活に満足が出来れば勉強にも繋がっていくと思います。「将来について真剣に考えている」が特に高校3年生だけが大きく減少していることは大きな問題であると思います。仕事の種類や業種など社会へ向けた情報を早い時期から入手出来る環境、意識する動機付けを行う必要があると思います。その上では大学や専門学校などへの進学先として適した選択を生徒自らが判断出来るようになると、高校卒業後も充実するのではないかと思います。将来の夢やなりたい職業等を第三者の前で意思表示する機会があると考えた動機付けになるのではないかと思います。</p> <p>常に進歩進化し、公立との取り組み格差に優り、力強い浪速高校にご満足なされている方が沢山おられます。PTA役員の保護者の皆様も先生方の取り組みに感銘なされて浪速高校にご愛着をお持ちになっておられると感じます。ご兄弟やご親戚や親子関係や何代にもわたりご入学されている浪速高校が保護者の皆様の最大の評価であると思います。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で授業参観や浪速祭など、保護者の方が学校行事に参加することがほとんどありませんでした。PTAの総会やPTAクラブ活動等は以前ほどにはできませんでした。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。</p> <p>保護者にはなかなか学校生活の様子がわかりにくいと思います。クラスシーやホームページでの情報発信は有難く思っております。保護者がいつでも担任に相談できる体制があれば有難い。保護者参加の行事の拡充も希望します。</p>

○教職員

学校運営については建学の精神を元に、教育課程の充実、教育活動の情報発信、教員研修の充実、危機管理など全教職員からのアンケート結果から90%以上の教職員が達成したと評価をしている。一方、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響のため、授業公開や地域との交流についての項目が低調で改善の希望を求める意見が多かった。教育内容については、生活指導を中心に日々の生活態度の改善と公共・交通マナーの向上や校内の美化・風紀などの向上、進路相談などによる進路指導の充実、人権教育、情報モラル教育の内容充実などが95%を超える高い数値となっており教職員から評価されている。放課後講習及びカウンセリング体制についての項目では平均で89%を超えており、高い数値であるが、不足していると答えている教員も少数おり、さらなる改善が必要と思われる。コロナ禍であっても、学校行事を工夫して実施し、生徒のため、柔軟に対応できたことは評価できると考えられる。

○分析

本校の施設面での教育環境整備が更に進み、教職員はそれらを前提とした教育の中身についてしっかりと対応できるようになってきた。コロナ禍の影響による新しい教育スタイルについても、更なる向上を目指して取り組んでいる。特に大学入試に対しては、カリキュラムの改訂を実施し、大学入試改革に伴う変更などにも確実に対応できた。次に、生徒達の僅かな変化をいち早くキャッチすること、問題の解決へ敏速に動くこと、学校生活を安心して送るため保護者との連絡や報告を密にとる、教員間での相談、情報共有など、個々の教員が実践できるようになってきている。今後については、引き続き新学習指導要領・新入試制度に対応できるよう、英語4技能の習得・アクティブラーニング・「思考力・判断力・表現力の育成」・ICT機器の活用などを通して「学力の3要素」の育成を更に目指し、教育を行っていく必要がある。

神社神道の精神を基礎となされ、清く優しく時には厳しく愛情をお持ちになられ生徒さんの成長をお手伝いされるお姿は成長止まらない浪速高校そのものだと感じます。正門に入ってすぐに教職員の先生方の心遣いが隔々までいきなり真摯に日々努力を繰り返す先生方に感動を覚えます。職員室でも管理職の先生方自らが先頭に立ち走り回り全ての先生方と一丸になり取り組むお姿は一つのチームのような爽快な光景で私自身沢山勉強をさせて頂いております。府下に沢山の学校があるかとは思いますが浪速高校ほど真摯にご努力なさる教職員の先生方の集団はないと思います。府下トップの人気校の今があるのはすべての先生方の100年にわたり絶え間ないご努力でその結果だと思います。

今回の新型コロナウイルスの件で、教職員の方は大変だったと思いますが、今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思います。若し教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思います。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。

コロナ渦での先生方の対応には感謝しています。安全に生徒が学校生活を送れるようにご尽力を頂きましたことは有難く思っております。生活指導面においても厳しく指導をして下さり、安心しております。また制限のある中で可能な限りでの行事の開催、代替えの体験などを工夫していただいていることにも感謝しています。昨今の社会情勢から教師と生徒の位置づけも過去とは大きく変わっていると思えます。結果と分析に記載されている「モラル教育」「人権教育」「あるべき人間性」「善と悪」これらを教育として受けられるのは高校生が最後となります。その後大学や社会では教育ではなく体験として学び、成熟していきます。その基盤となる教育を高校生で厳しく解りやすく将来訪れるであろう壁も想像させながらの教育を希望します。

進歩、進化、努力が常に止まらない浪速高校。今できる事を今すぐに行動する学校、あらゆる教育資材をすぐに投入する学校が今の浪速高校の府下の方々からのご支持に繋がっていると思えます。頑張る生徒さんに最大のバックアップや自信や誇りを持たさせる創意工夫は未来への力強い日本の財産である若者を沢山育てにいられてます。頑張っている生徒さんが誉を持つ高校は先生方が作られてきた神社神道の建学の精神で心の豊かな100年の伝統ある素晴らしい日本の宝である高校であると思えます。浪速高校と共に成長させて頂き深く感謝しております。

今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が勧めやすくなるかと思えます。いかなる事にも素早く対応できるように、危機管理を最大限に持って、素早く対応できるように準備いただきたいと思います。浪速ならではの教育を進めていっていただきたいと思えます。ICTなどのデジタル的なものだけに頼るのではなく、教員と生徒の人間としてのいい関係をもっと増やし、生活力や学力をもっと向上させる様に教育していただきたいと思います。

学校施設や教育環境は非常に高いレベルの学校であると思えます。様々な機器、技能を習得する機会等も十分に与えられていると安心、感謝しております。しかし、生徒が理解し、その機会を有効に生かしているかが重要です。大学や進学のための教育も大事だと思いますが、社会人、人生、将来を考える上での何を学ぶべきか、何処へ進学すべきかを考える意欲付けへ導いて欲しいと思えます。特に高校3年生自分の人生を自分で考えなければならない覚悟を持つ準備期館として親からでは聞き入れにくい厳しさを伝えて頂き、家庭教育を歩調を合わせ強い心を育てていけるよう、連携の取れた学校と保護者関係を構築していかなければと思います。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、学校行事を通じて神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、校外学習における神社参拝や伊勢修養学舎を実施	行事实施前の神道授業での事前学習の充実と実施後の変化や成果を検証し改善を行う	行事(一斉参拝など)と授業(神道)を連携させて実施した。神社奉仕は、新型コロナウイルス感染防止のため、回数を縮小し実施した。清掃活動は感染症対策を行ったうえで2学期以降実施した。	
		イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う	神社奉仕や校外の清掃活動(学期に1回～2回)を実施		
		ウ、積極的に挨拶をすることにより主体的に生活環境の配慮と構築を進める	教員生徒間はもちろんのこと来校者全員に対しても積極的に挨拶をする	概ね良好と思われるが、一部の生徒に関して十分ではない状況がある。	
	(2) 教員研修の充実	ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる	教科ごと学期に一回の研修会、反省会の実施	各教科、学期に1回程度の公開授業を実施した。	
		イ、外部の研究会や研修会などに、各教科で積極的に参加	各教科で年間2、3回は参加し、教科内で情報を共有し、教科指導に役立てる	年間を通じ、各教育機関・公開授業・予備校の研究会などに教科から参加し、教科会議などで情報を共有した。	
		ウ、年2回程度外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施	社会的問題(人権等含む)となっているテーマについて講師を招聘しての研修を実施して、教員への意識の向上と迅速な対応が出来る事を目的とする	6月16日・10月6日・1月26日に実施をした。	
		エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる	発表会、展示会へ参加 研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。6月24日には教職員ICT研修会公開授業・分科会を実施した。	
		オ、新任教諭による研究発表会 年間の研究研修の成果を発表する	新任教諭が存在する年に開催される	4月14日・5月12日・11月17日に実施した。	
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実を図る	全校生徒、一人1台Chromebookを遅滞なく使用できる環境整備の構築	ネットワークの通信速度の増強と、自学自習用教材のソフトウェアの拡充を行った。	
		イ、校内学習補助機材等の充実を図る			
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを更新する	マニュアルの見直しと更新	総務部を中心に関係各部署と連携を取り対応した。	
		イ、水、食料の備蓄を実施する	新入生分を新規に備蓄する		
		ウ、防犯訓練、避難訓練の実施	大阪880万訓練の日に実施		9月2日に実施した。
	基本的 生活習慣の 確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査の実施	各学年1学期に実施	「人権アンケート」として、5月27日に実施した。
			イ、人権教育HRの実施	各学年、年に2回程度実施	1年:4月・10月・2月、2年:12月、1月、3年9月に実施した
ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施			年1回研修会実施	「同和教育」をテーマに10月27日に実施した。	
(2) 生活指導		ア、学校外危険場所、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており現在のところ指導内容の成果は出てきている。問題発生件数は減少傾向にある。近年はネット上のトラブルが中心となっている。今後も継続的な指導が最も効果的であると確信して日々の指導を充実させる。	
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施		
		ウ、全校生徒対象の校長講話と生徒生活指導部長からの注意、指導	月2回の全体指導		
		エ、服装、頭髪指導及び公共のマナー、交通マナー向上の指導	毎日登下校時実施		
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高で実施	11月17日に実施した。	
		イ、防犯教室	中高1年生対象で実施	10月6日に実施した。	
		ウ、人権研修会	各学年で実施	上記(1)ア・イに記載。	
		エ、ネットトラブル防止教室	中高合同で実施	4月6日に実施をした。	
		オ、思春期教室	高校3年生で実施	6月2日に実施した。	
		カ、自転車通学者講習会	高校1年生対象で実施	4月5日に実施をした。	
		キ、AED講習会	新任教員、クラブ代表生徒対象で実施	7月13日に実施をした。	

学 力 向 上 と 進 路	(1) 教科指導力の強化	ア、教科内での教員研修会の実施	教科別教員研修会の実施 朝・放課後・長期休暇期間における講習実施後の小テストや模擬テスト、定期テストの結果を見て改善箇所の発見と改善に努める	各教科内で互いに授業見学を行い、授業力の向上に努めている。また、ICT機器を活用した教授法などの研究を行っている。Google認定教育者(レベル1)資格の取得を推奨し、スキル向上に努めている。
		イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上		
	(2) 英語教育の強化	ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す	英語検定を年に2回実施	英検を6月3日および1月13日に実施した。英検学習用ツールTiiFaを導入した。
		イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施	海外の大学生が来日し本校生徒に対し5日間英語のみでコミュニケーションを図る指導などを行う	感染症対策を十分に行ったうえで、8月1日～5日の期間で実施した。
		ウ、語学研修の実施	約2週間、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し英語学習の必要性を高める	3月20日～30日の日程で、カナダ・バンクーバー方面にて語学研修を実施した。
		エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	新任教員など、基準クリアーを目指して資格試験を受験予定の教員が複数いる。
		オ、浪速国際コースでの実践力強化	浪速国際コース(1コース)において、様々な取り組みを実践する	トロント大学講座実施、タイ、韓国との学生とのオンライン交流実施、イギリスの学生との交流実施、海外大学進学セミナー3回開催、ベルリッツ特別講座の開催、洋書教材を用いた帰納的学習の実践などを行なった。
	(3) 講習等の実施	ア、始業前の学習指導	月～金まで朝学習を行う 学年ごとに内容などの計画を立てて実施	2、3年生は、Ⅱ類・Ⅲ類で実施、テストだけではなく、資格取得の練習問題等も実施した。1年生は、資格取得の練習問題、思考力を養う取り組み等を実施した。
		イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施	模擬テストや定期考査における成績の向上を指標の1つとして実施	放課後講習は月火水金で実施した。
		ウ、長期休暇中での講習の実施		
		エ、多聞合宿の見直しと内容の充実	大学入試に対応する内容で5教科を中心に実施。同時に主体的学習時間も増やす	コロナ禍のため多聞での宿泊を伴う学習合宿は、回数を縮小し、代わりに日曜日を中心に学校にて入試を意識した思考力・表現力を育成する内容で実施した。
		オ、夏期特別選抜合宿の実施	国公立大学志望者から成績優秀者を選抜して実施。3年生だけでなく、2年生でも実施	感染症防止対策を厳重に行い3年生は7月30日～8月2日、2年生は7月27日～30日の日程で行った。
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加。	学校訪問、研究会、展示会参加。 本校独自の研究授業の実施	4/12 第13回 教育 総合展 (EDIX) 6/16 第5回 教育総合展 (EDIX) 関西 講演 8/16 Googleコミュニティサミット参加 8/26 Google for Education 認定トレーナー交流会 9/15 MEXCBTオンライン研修会 2/7 第95回教育委員会対象セミナー 2/22-24 ASUS 2023 Partner Summit 3/9 昭和高等学校・中学校訪問
		イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施(電子黒板、プロジェクター、タブレット等)		Google for Education活用ライブラリ研修を9月5日、12日、26日、10月24日、30日、11月7日で実施した。
	(5) 将来の進路選択に関する意識付け	ア、大学入試改革・指導要領改訂への対応	制度変更や手続き関係などの連絡や説明会を定期的に実施	学期毎に進路HR(学年別)を実施し、入試方法の変更や入試制度の変更を学年で共有した。
		イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施	進路説明会、キャンパスツアー、分野別説明会等を実施	3年生に進路説明会、キャンパスツアー 2年生キャンパスツアー 1年生に分野別説明会を実施した。
		ウ、各大学のオープンキャンパス、セミナー等への積極的参加	大学見学会、セミナー案内を定期的に実施	オープンキャンパスやセミナーの案内を各生徒の端末に適切な時期に配信して案内した。
		エ、外部講師を招いての受験対策講義	難関国公立大学を目標に外部講師を招き講義	3年生は1学期、2年生は2学期にS1、六ヶ年、Ⅰ類を対象に実施した。
		オ、HR等の時間での進路説明会	各学年各学期に2回程度実施	計画通りに実施した。
		カ、思考力・判断力・表現力の育成	放課後講習や特別授業で実施	Ⅱ、Ⅲ類については学期末の特別授業期間中に、その他の類は毎月曜の放課後に実施した。

保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	4月下旬に授業参観を実施予定	新型コロナウイルス感染症防止の観点より中止となった。
		イ、各学期に行われる三者懇談会	6月と11月に実施予定	6月6日～11日、9月24日～30日(3年のみ)、11月8日～11月14日、1月23日～31日(3年のみ)に実施した。
		ウ、学期末に行われる成績懇談会	7月、12月に実施予定	7月19日～28日、12月17日～23日に実施。この他、必要に応じ、年間を通じて適宜実施。
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、担任と保護者との連携	欠席や遅刻をした場合の保護者への連絡	全ての担任が必ず当日中に確認の連絡を行い情報共有をしている。
		イ、ホームページ、学校連絡網システムであるclassiでの情報発信	全ての生徒・保護者と双方向の連絡が取れる仕組みを確立する	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。保護者への情報発信は、HPに加え、classiおよびclassroomを活用している。
		ウ、保護者対象進路説明会の実施	保護者対象に外部講師や本校教員にて実施	1学期に1年生保護者、2学期に全学年対象保護者にむけて実施した。また、2学期に1年生、2年生の保護者対象に本校教員による進路学習会を各学年実施した。
		エ、高校生活支援カード作成による連携	入学時に提出し、必要に応じて適切な支援を行う	支援が必要な生徒には特別支援委員会で作成し、情報の共有と共に支援を行った。
	(3) 地域との連携	ア、大和川中学校区でのイベントへの参加	積極的に参加する	11月12日大和川中学50年式典に参加。
		イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加		6月12日、7月17日に住吉区民センターにてレインボーコンサートを実施。 3月29日に堺市立西文化会館にて雅楽鑑賞会を実施。
		ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)		3月30日に実施をした。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動・神社奉仕	各学期に1回～2回実施	コロナ禍のため活動を縮小し地域清掃奉仕活動は10月3日に神社奉仕(阿倍王子神社)は7月28日に実施した。
		イ、近隣老人ホーム慰問	年1回実施	新型コロナウイルス感染症防止の観点より老人ホーム慰問は中止した。

4 次年度への改善に向けた取り組みについて

家庭学習の状況改善(自学自習への意識改革)

→放課後講習に自学自習用のアプリを組み込むことで生徒の意識改善と具体的な取組の促進を行う。

(進路を決めかねている生徒向け)進路指導のさらなる充実

→具体的なイメージをつかめていない生徒に向けて、OBの講演等の進路講の拡充や進路決定の時期の前倒しの検討

ICTを活用した授業による生徒のさらなる学力伸張

→使えば使うほどに新しい活用方法が発見できると思われる。アプリの効果的な利用や精査。

学校行事の拡充(コロナ禍以前の状態に戻す)体育祭など新しい試み

→単に過去に戻すだけでなく、生徒や保護者のニーズを確認しながら、新しい学校行事を模索する。

カウンセリングが実態に見合っているかを分析し、拡充が必要か精査していく。(※議論はある)

→生徒総数や相談希望の件数に見合った体制の構築。

地域連携、保護者対象の行事の拡充

→学校行事同様に、単に過去に戻すのではなく、現状に合った行事やその実施方法を模索する。

働き方改革の観点から適正な部活動のあり方について分析を行う。

→部活動の在り方について各部活動の競技性などについて再考察し、外部指導員の運用も含めた適正な活動時間・内容を構築する。